



発行責任者
 社会福祉法人こころ 理事長 金子 智子
 こころ編集局
 諏訪市高島一丁目21番14号
 TEL 0266-54-5610
 FAX 0266-54-5618
 ホームページ
http://www.kokoro5560.or.jp/?page_id=773

こころのひろば 特定施設

7月7日(日)午後2時からひろば特定のリビングにて七夕会を開催しました。

七夕にちなんだ紙芝居や合唱をしました。紙芝居は、「温泉が大好きなお地蔵さん」のお話です。諏訪の方言がでてきて、「なつかしい響きだった」「むずかしかった」など感想もいろいろです。

特定の入所者さんたちは、歌が上手で、大きな声で、つぎつぎ唄われていました。

終わりに、チョッと贅沢して、プリンとフルーツの盛り合わせを頂きました。



7月13日(土)午後1時から、定例の講和会を開催しました。入所者さんの企画で、定期的に行われています。今回は、ケアマネの職員から介護についてお話をいただきました。



真夏の2大 スペシャルイベント

こころひろば多目的ホール



▲8月5日(月)午後2時から、邦楽演奏会が開催されました。出演くださったのは、諏訪シニア賛助会「彩の音」の皆さんです。

荘厳な箏の演奏と心にしみる二胡の音色に聞き入りました。



▲8月8日と9日の両日6回にわたり上映会が開催されました。上映されたのは、「ケアニン」小規模多機能事業所に働く新入介護職員と認知症で、入所された元保育園の先生とが織りなすドキュメントタッチの映画です。

鑑賞した職員は、涙しながら応援していました。

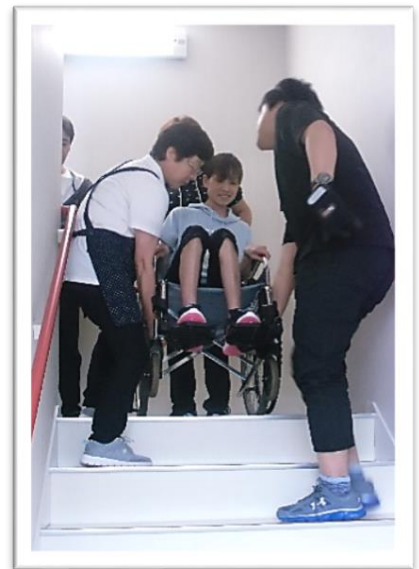
(提供:地域交流センター)



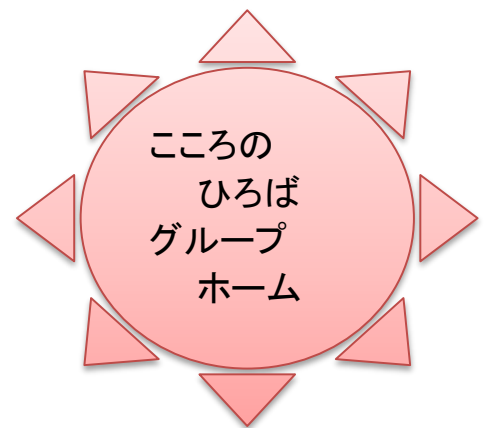
7月19日(木)午後1時から、消防訓練を実施しました。火災発生を想定し、避難経路の階段から、車いすによる訓練です。実際に職員を乗せて、2階から階段を降り、ホールまで、避難しました。

車いすの持ち上げ方や運ぶ方向など、本番さながらでした。

▲消防訓練の後、夏祭りのイベント。ヨーヨー釣りを楽しむご利用者さん



▲7月、「じいじの部屋」のご利用者さんと散歩がてら、近くのコンビニまでアイスクリームを買い出しにいきました。(提供:グループホーム)



8月14日(水)午後1時30分から、こころのひろば多目的ホールにて「高齢者虐待・身体拘束について考える」介護技術研修が開催されました。

こころの介護職員を中心に、約20名が参加し、看護協会の奥原ます子先生から講義を受けました。

奥原先生は、「介護の現場から、虐待や身体拘束という言葉が無くならないのは何故でしょうか。グループごとに話し合ってみてください。」と受講者に投げかけられ、参加した介護職員らが討論しました。

立場や、年齢、介護経験の違う職員がそれぞれの考えを述べ、それに共感して理解へと進む過程がチームケアには大切であり、チームとして起きている事実に向け、ご利用者様の視点でケアを見直し、工夫していく事が、現場での虐待や拘束を無くしていく近道であることを学ぶことができました。(提供:介護委員会)



▲高齢者への虐待や身体拘束について講義する、奥原先生



▲講師の問いかけに、グループ討論する職員違った意見を共有して、チームケアの重要性を学ぶ

